

今号の主な記事

14年度の主な事業・施策	2面
市民生活相談をご利用ください	3面
「西宮さくら祭」イベント参加者募集	5面
「インターカレッジ西宮」の受講生募集	6面

発行 / 西宮市役所 〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号
 TEL / 0798-35-3151 (代表)
 ホームページ / http://www.nishi.or.jp/
 編集 / 市長室広報課 TEL / 0798-35-3400

毎月10日・25日 2回発行

推計人口 44万7267人(女 23万3848人 男 21万3419人) 世帯数 18万3621 面積 100.18km²(平成14年2月1日現在)



行政方針を述べる
山田市長

山田市長

平成14年度

行政方針を表明

山田知市長は、3月定例市議会初日の2月27日に平成14年度行政方針を表明、「財政危機の克服と西宮の新たな魅力づくりへの取り組みに全力を尽くします」と述べました。

また、田中良美教育委員長も、教育委員会行政方針で、「夢はぐくむ教育のまち西宮」の実現に最大の努力を傾けます」と述べました。

私は、市民の皆様が安全で安心して豊かな生活を送ることのできる文教住宅都市・西宮づくりをさらに前進させるため、新年度におきましては、次の2項目を重点に市政運営を行い、「愛と希望」を基本理念に、市民の皆様と共(とも)に西宮のまちづくりをまい進してまいります。

第一に、山・川・海のバランスのとれた本市の優れた自然環境を守り育ててまいります。このため、環境保全部門と緑化推進部門を統合し、環境の保全と創造の連携を図るほか、今後の緑化の推進に関する「緑の基本計画」を策定し、「はなみどり」かがやく文教住宅都市を旨とします。

財政危機の克服

復興事業をやり遂げ、被災された市民の皆様の生活を守り、さらに個性ある文化を育むことにより、西宮の魅力を高め、市民生活の向上を図ります。

西宮の新たな魅力づくり

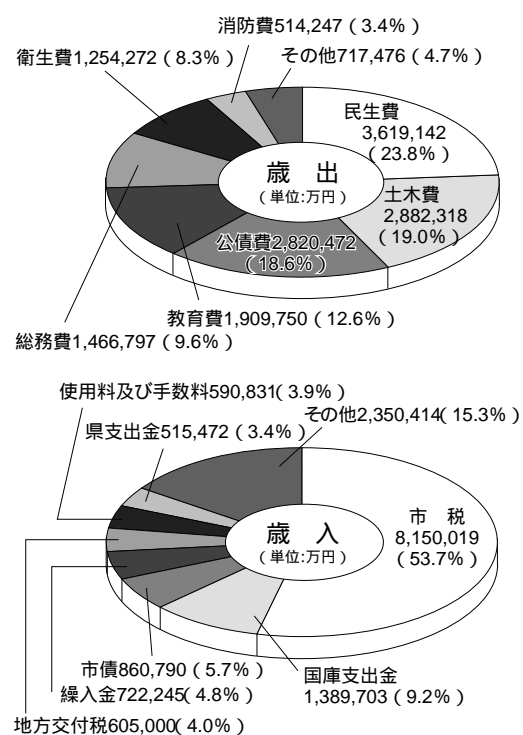
本市の人口は、震災前を2万3千人も上回る44万7千人に達しています。人口増は、新たな行政需要をもたらすこととなりますが、都市の活性化、西宮の発展のためには好ましいことであるとと考えています。このように多くの方が本市に移り住んで来られているのは、自然環境と交通の便に恵まれた文教住宅都市としての本市の魅力によるところが大きいものと思っています。

私は、この文教住宅都市・西宮の魅力にさらに磨きをかけてともに、新たな魅力づくりに取り組んでまいります。

平成14年度 予算案

平成14年度の予算案は、総額2756億4680万円です。一般会計は1518億4474万円、国民健康保険など特別会計は計1005億7043万円、水道や病院など企業会計は232億3163万円です。前年度に比べ、一般会計は2.7%減り、総額は0.7%減っています。

14年度予算は、第2次行財政改善実施計画に基づき、徹底した歳出の削減と歳入の確保に努め、魅力あるまちづくり・福祉施策の充実に向け重点的な予算配分を行いました。14年度の主な事業・施策は2面参照。



総額 2756億4680万円
 ・一般会計 1518億4474万円

・特別会計 1005億7043万円
 ・企業会計 232億3163万円

教育行政方針

夢はぐくむ教育を



田中教育委員長

今年も次代を担う子供たちが小学校に入学してきます。この子供たちは大震災後に誕生した子供たちです。このような新しい命の輝きを大切に、西宮の教育の充実・発展に力を尽くします。

完全学校週5日制を迎え、子供たちが家庭や地域で、健康やかに成長していくよう、地域活動への参加を奨励します。また、子供たちが参加できる事業などを拡充します。

人生80年代と言われるなか、芸術・文化やスポーツ活動などを通して、多様な市民文化が開花するまちづくりを進めます。

そのため、各種学習情報や学習の機会と場の提供などを充実するほか、事業の展開等に工夫を凝らします。社会教育施設では、多くの市民が積極的に活用できるように、運営方法の改善などを図ります。また、身近なところでの健康と体力づくりに向けた地域での生涯スポーツ活動を推進します。すべての教育の出発点は家庭にあります。家庭の教育機能を尊重し、その向上を支援する取り組みをさらに進めます。

これからは、地域とともに歩む学校づくりや、文化・スポーツ活動等において、「市民の力」による一層の支援・協力をお願いしたいと存じます。

今後とも「夢はぐくむ教育のまち西宮」の実現に向け、家庭・学校・地域社会が連携し、ともにまい進していきけるよう、最大の努力を傾けます。

西宮の新たな魅力づくり